

あすなる診療所 様

# 院内感染防止対策研修会

～スタンダードプリコーション～



株式会社よんやく

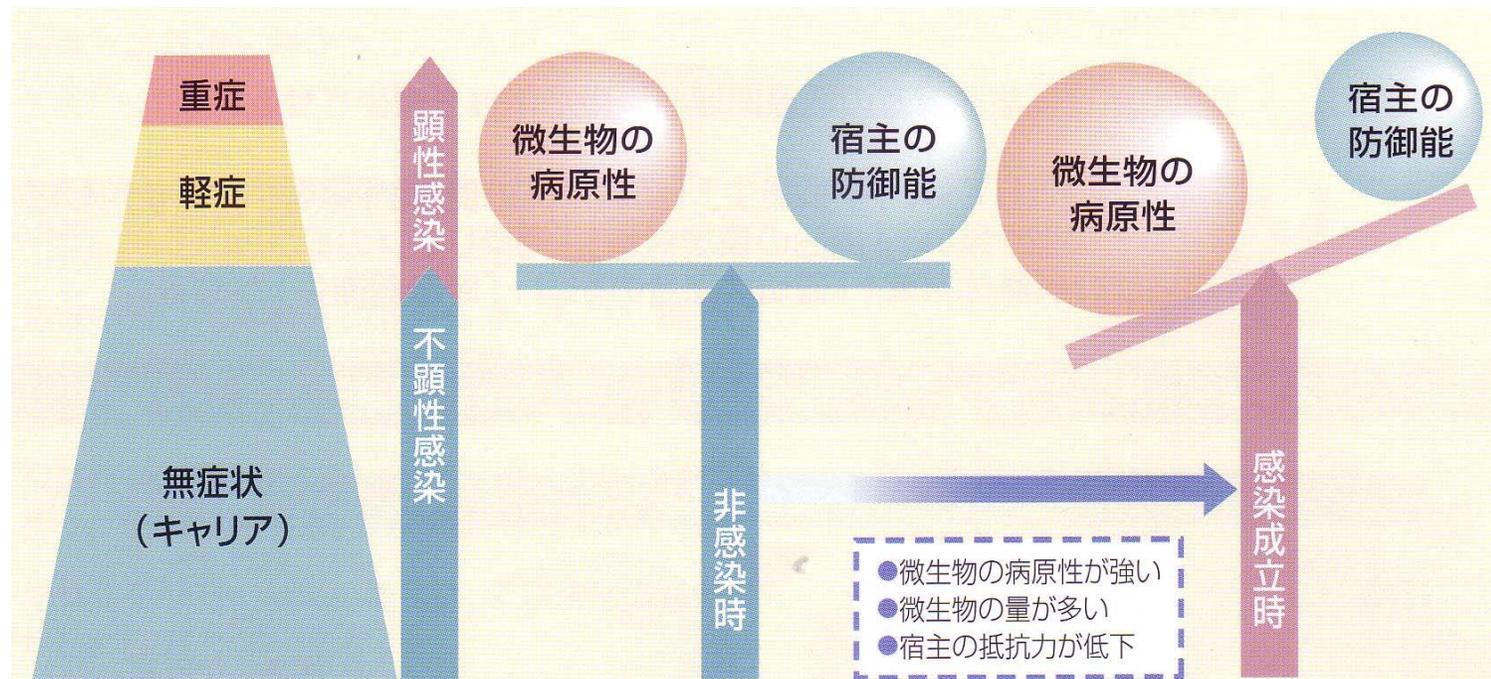
# 感染の成り立ち

- 感染とは

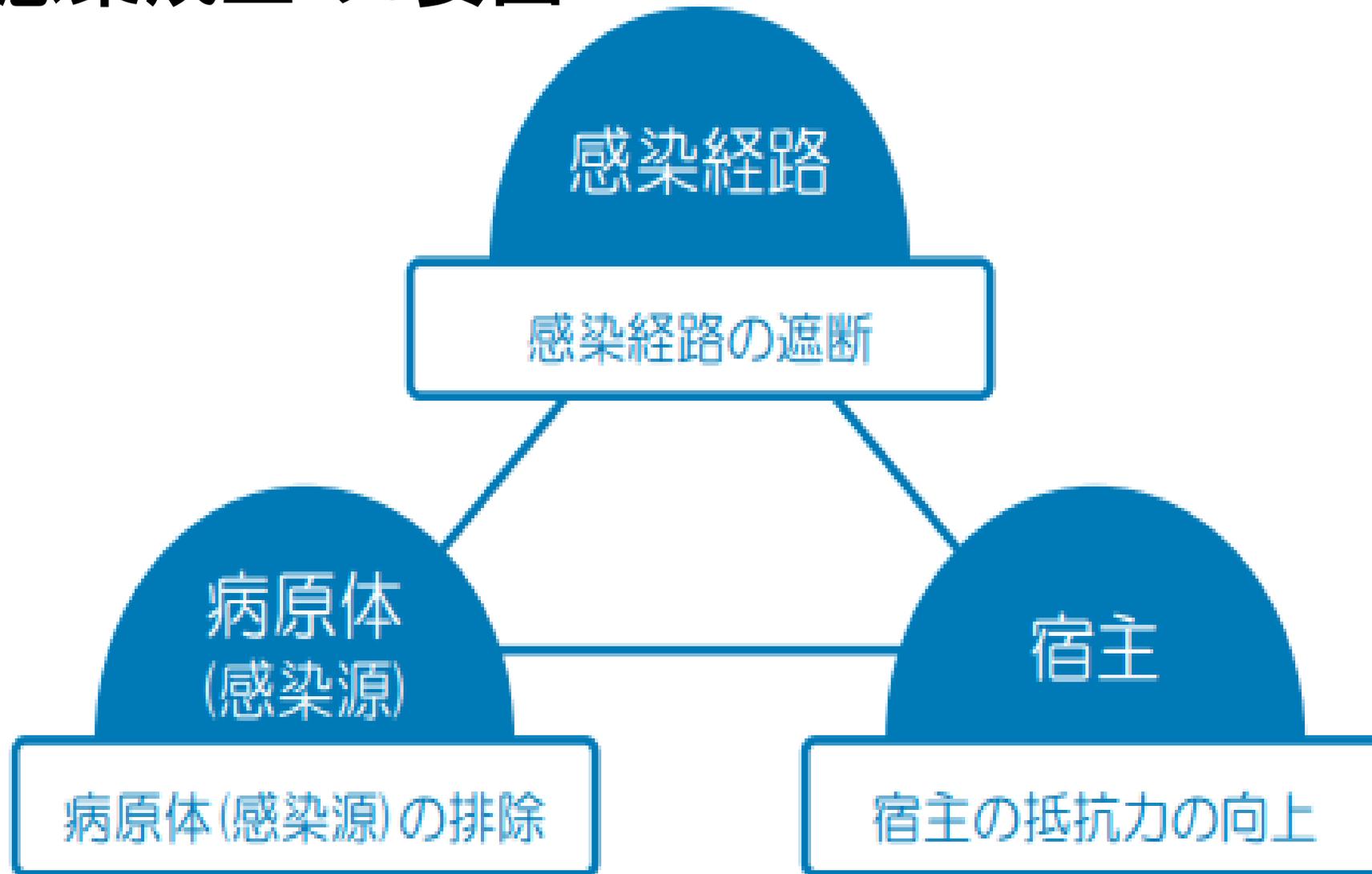
病原微生物（病原体）が身体のある部位で増殖すること。

- 感染症とは

感染により引き起こされる疾患（感染した人がすべて発症するわけではなく、無症状の場合もある）



# 感染成立の3要因



# スタンダードプリコーションとは

すべての患者さん・家族、医療従事者に対して、標準的に用いる最も重要で基本的な感染対策

## スタンダードプリコーションの目的

医療従事者を介して起こる交差感染から患者さんを守り、また患者さんが保有している病原体から医療従事者を守る

# スタンダードプリコーション

## ● 実施方法

- 1 適切な手指衛生
- 2 防護用具の使用（手袋、マスク等）
- 3 患者ケアに使用した器材などの取り扱い
- 4 周囲の環境対策
- 5 汚染リネンの取り扱い
- 6 血液媒介病原体対策
- 7 適切な患者の配置
- 8 呼吸器衛生 咳エチケット

# スタンダードプリコーション①

- 適切な手指衛生

適切な手指衛生は、すべての感染防止対策の基本であり、医療関連感染防止のために不可欠である

適切な手指衛生により、すべての患者・入所者・療養者を医療従事者の手指を介した交差感染から守ることができる。同時に、医療者・ケア提供者を病原微生物から守ることができる。

## ● 手指衛生の種類

### 擦式アルコール手指消毒薬による手指消毒

- ・ 目に見える汚れがない（汚物や油、体液などで手が汚染されていない）ときに用いる

### 石けんと流水による手洗い

- ・ 目に見える汚れがあるとき
- ・ アルコールに抵抗性のある微生物が検出されている患者接触後

- 洗い残しが起こりやすい部位



手の甲



手のひら

手洗いミスの発生頻度



# ● 手洗い方法

石けん液と流水による場合（最低15秒）



①手を流水でぬらす



②石けん液を適量とる



③手のひらをこすり合わせよく泡立てる



④両手の指の間をこすり合わせる



⑤手の甲をもう片方の手のひらでこする（両手）



⑥指先でもう片方の手のひらをこする（両手）



⑦親指をもう片方の手で包みこする（両手）



⑧両手首までていねいにこする



⑨流水でよくすすぐ



⑩ペーパータオルでよく水気をとる

# ● 手指消毒方法

アルコール性擦式消毒薬液による場合



①適量の速乾性消毒薬液を手にとる



②最初に手掌に溜めたアルコールに爪を浸し、爪の間をよくアルコールでぬらす（両手）



③手掌を合わせて全体に擦り合わせる



④手の甲から手指の間を擦り合わせる



⑤手指をまるめてしわ部分を伸ばして擦り合わせる



⑥両手を組み合わせ手指の間を擦り合わせる



⑦洗いの残しの多い母指は回転させ擦り合わせる



⑧手首や前腕は腕を回転させるように擦り合わせる

# スタンダードプリコーション②

- 防護用具の使用

患者の湿性生体物質（血液・体液・分泌物・排泄物など）で衣服が汚染される可能性があれば、ガウンやプラスチックエプロン、手袋を使用する

飛沫感染が起こりうるときには、マスクやアイプロテクション（ゴーグル、メガネなどを使用する）

湿性生体物質に接触するときは手袋を着用し、使用後には手洗いをする

# スタンダードプリコーション③

- ケアに使用した器材の取り扱い

血液・体液・分泌物で汚染した器具・器材は、皮膚との接触、着衣の汚染、病原体による周囲の汚染を避けるように扱う

再使用する器具・器材は、ほかの患者のケアに安全に使用できるように、使用目的により洗浄・消毒・滅菌などの適切な処理を行う

# スタンダードプリコーション④

- 周囲の環境対策

環境の表面、ベット、ベット柵、ベット周囲の器具、そのほか頻回に触る場所の手入れ、清掃、消毒の適切なマニュアルを作成し、実行されているかを確認する

壁・床、そのほか環境表面は、消毒・滅菌は不要、洗淨と汚染の除去を日常的に行う

床などにこぼれた血液や体液は、その部分のみに適切な消毒薬を使用する。消毒薬の噴霧はしない

# スタンダードプリコーション⑤

- 血液媒介病原体対策

以下のような状況にあるときは、針・メス、そのほか鋭利な器械・器具による受傷を防止する

1. 鋭利な器具を扱っているとき、処置のとき
2. 使用済みの器具を洗浄しているとき
3. 使用済みの針を捨てるとき

蘇生が必要なときは口と口との接触を避け、マウスピース、蘇生用バッグ、そのほかの呼吸器具を用いる

# 院内感染対策マニュアル例（市立札幌病院）

## 鋭利な器具の取り扱い

### 鋭利器材を取り扱う際の遵守事項

- 1) 鋭利器材を使用する場合、近くに耐針性の感染性廃棄容器を配置する。  
病室などで使用する場合には、携帯用針廃棄容器を持参する
- 2) 鋭利器材を使用する場合はグローブを着用する
- 3) 安全機能がある器材は確実に作動させる
- 4) 安全機能がない器材はリキャップしない
- 5) 鋭利器材を使用した職員が、ただちに廃棄する。鋭利器材の廃棄を使用していない他の職員に任せない
- 6) 床に落ちた鋭利器材は不用意に素手で拾わない。針廃棄容器を準備し、グローブを着用の上、ピンセット等で把持するか、鋭利ではない箇所を安全につかんですぐに廃棄する
- 7) 感染性廃棄物は素手で押し込まない

# スタンダードプリコーション⑥

- 適切な患者の配置

環境を汚染する患者、清潔を保持するための協力を得られない患者は個室に収容する

個室が空いていない場合は、感染管理の専門家に相談する

# スタンダードプリコーション⑦-1

## ● 呼吸器衛生

気道分泌物を封じ込めるため、呼吸器感染症の徴候・症状のあるすべての人に推奨される予防策である

医療施設において、インフルエンザを含むすべての呼吸器感染症の伝播を防止するため、潜在的な感染症患者と接触する最初の場所で、感染対策を実施する

- 呼吸器症状がある患者さんには、マスクを提供し、装着するように指導する
- 呼吸器症状がある患者さんと他の人との空間的距離を、できれば1m以上空ける

# スタンダードプリコーション⑦-2

## ● 咳エチケット

呼吸器症状のある患者全員に、鼻・口にティッシュペーパーを当てて、咳・くしゃみをするよう指導する

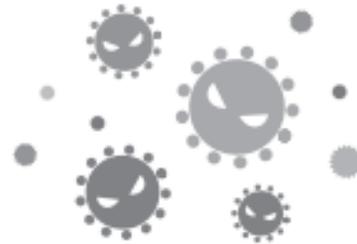


# 咳エチケット啓発ポスター

## ■ほかの人にうつさないために

くしゃみや咳が出るときは、飛沫にウイルスを含んでいるかもしれません。次のような咳エチケットを心がけましょう。

- ・**マスク**を着用します。
- ・ティッシュなどで**鼻と口を覆います**。
- ・とっさの時は**袖や上着の内側で覆います**。
- ・周囲の人から**なるべく離れます**。



## 3つの咳エチケット 電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



マスクを着用する  
(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで  
口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う



何もせずに  
咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを  
手でおさえる

ご清聴ありがとうございました



株式会社よんやく

まっすぐに、着実に。日々の積み重ねが生み出す、地域の幸せ。